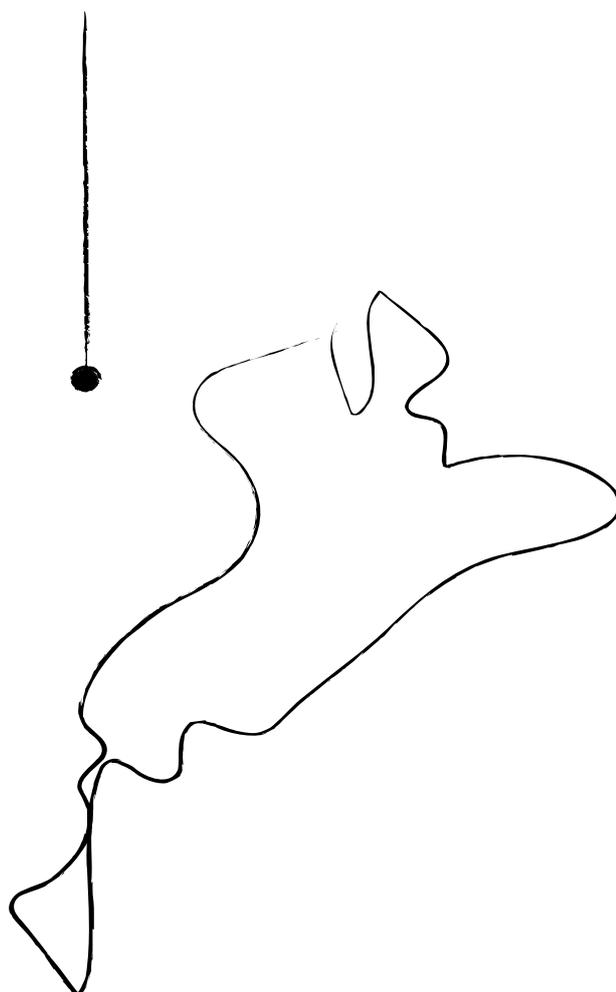


第44期（2022年度）

対象期間：令和4年（2022年）7月1日～令和5年（2023年）6月30日

エコアクション21 環境経営レポート

有限会社 **ふくだぐみ**
● SINCE 1938



発行日：令和5年（2023年）8月1日

発行責任者：福田 恵

1 取組対象組織・活動

事業者名及び代表者名

有限会社 ふくだぐみ
代表取締役 福田 一圭

所在地

本社 〒520-1421 滋賀県高島市朽木岩瀬 1 5 番地 1
倉庫 〒520-1415 滋賀県高島市朽木柏

環境保全関係の責任者及び連絡先（電話番号等）

環境管理責任者： 福田 一圭
Tel 0740-38-2540

事業活動の内容（認証・登録範囲）

総合建設業（土木工事業・造園工事業・建築工事業・管工事業）

事業の規模 第44期（2022年7月1日～2023年6月30日）

売上高 550 百万円／年
工事件数 22 件／年
全従業員 9 名

事業組織

面積：㎡	本社	倉庫
事務所床面積	122	
倉庫床面積	215	
駐車場面積	500	
倉庫面積		1,535
従業員	9	0
認証・登録	○	○

過去3年間の環境負荷の実績

	単位	第42期 2020年	第43期 2021年	第44期 2022年
二酸化炭素の排出量	Kg-CO ₂	269,386	307,093	230,714
二酸化炭素排出量原単位	Kg-CO ₂ /百万円	485	615	419
廃棄物の排出量	t	1,425.7	204	685
水の使用量、排水量	m ³	12	36	34
売上高	百万円	556	499	550

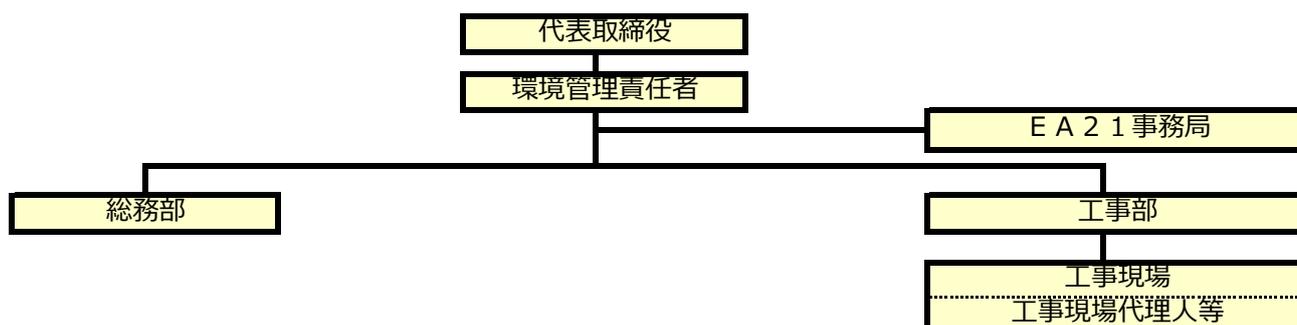
※購入電力の排出係数は関西電力2019年度の調整後排出係数（0.318kg-CO₂

/kWh）を使用している。

※化学物質の使用はありません。

2 環境経営組織図及び役割、責任、権限表

EA21 実施体制組織図



役割、責任及び権限一覧

担 当	内 容
代表取締役	①環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ。
	②環境経営システムの構築・運用・管理に必要な資源を用意する。 (資源には、人材、設備、費用、時間、専門的な技能、技術を含む。)
	③環境管理責任者を任命する。
	④環境経営方針の策定・見直し及び従業員への周知を行なう。
	⑤代表者による全体の評価と見直しを実施する。
	⑥環境経営レポートの承認
環境管理責任者	①環境経営システムを構築し、実施し、管理する。
	②作成された環境への負荷及び取組の自己チェックを確認し承認する。
	③法規制等の遵守状況をチェックする。
	④環境経営方針及び自己チェック等に基づき環境経営目標を設定し、作成された環境経営計画を確認し承認する。
	⑤環境活動の取組状況を確認し、環境経営目標の達成状況を評価する。
	⑥問題点の是正、予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行なう。
	⑦環境活動の取組結果を代表者へ報告する。
	⑧EA21に関する運用管理の体制を構築し、各責任者を任命する。
各部門長及び 工事現場代理人	⑥環境経営レポートの照査
	①責任範囲の環境経営目標及び環境経営計画の実施とEA21事務局への達成状況の報告。 ②責任範囲の問題点の発見、是正、予防処置。
EA21事務局	①環境経営システム運営のすべての事務を行なう。
	③「環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況チェックリスト」を作成し、環境管理責任者へ報告する。
	④環境経営計画並びに運用手順書を作成し、実施達成状況を集計し、環境管理責任者へ報告する。
	倉庫
	⑥外部コミュニケーションの窓口。
	⑦内部コミュニケーションの運営管理。
	環境管理責任者： 福田 一圭
	⑨特定された緊急事態に対する項目の手順書作成、テスト・訓練・記録。
	⑩環境経営レポートを作成する
	⑥環境経営レポートの作成
全従業員	①環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	②決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

3 環境経営方針

環境経営方針

環境理念

当社は、環境保全に努めることが社会貢献の重要な課題の一つと認識し、環境に配慮した循環型社会の構築に貢献します。

行動指針

当社は滋賀県の湖西地区で、公共工事を中心に事業を行っています。この事業活動において、環境への影響を理解し、環境に配慮した事業活動を行うことが重要課題であるにとらえ、EA2 1 環境経営システムを運用し、社員全員が環境保全への意識を高め、継続的改善と予防に努力し実践します。

1.環境関連法規等を遵守します。

2.当社は、次の環境経営活動を計画的に取組み実施します。

- ・ 事業活動において電気使用量や車両（重機を含む）等の燃料使用量を削減し、CO2の排出量抑制に努めます。
- ・ 事業活動において廃棄物の分別に努め、建設リサイクルを推進し、適正に処理することに努めます。
- ・ 事業活動において使用する水の節水に努め、現場から排出する水の汚染、汚濁防止に努めます。
- ・ 環境に配慮した施工を推進します。
- ・ 環境経営活動を通じて社会に貢献します。

3.この環境経営方針は全社で周知、徹底します。

制定日：2013年11月15日

改定日：2017年7月 1日

改定日：2019年7月 1日

有限会社 ふくだぐみ

代表取締役 福田 一圭

4 環境経営目標とその実績

エコアクション21は2012年11月より取り組んでいます。2021年度の実績を基準値として、2022年度から2024年度までの目標を下記の通り設定しました。尚、このレポートでは、2022年度 第44期（2022年7月1日から2023年6月30日まで）の運用実績について取りまとめました。

評価：○達成 △まあまあ達成 ×未達成

環境経営方針	取組項目	年度 単位	2022年度(第44期)			評価	次年度 中長期	
			2021年度 (基準年)	(目標)	(実績)		2023年度 (目標)	2024年度 (目標)
二酸化炭素排出量削減	電気使用量削減	目標・基準年比 達成率	100%	99%	85.8%	○	98%	97%
		使用量(kWh)	12,608	12,482	10,820		12,356	12,230
		(kg-CO ₂)	4,009	3,969	3,441		3,929	3,889
	燃料削減(ガソリン)	目標・基準年比 達成率	100%	99%	92.5%	○	98%	97%
		使用量(L)	13,296	13,164	12,302		13,030	12,897
		(kg-CO ₂)	30,846	30,537	28,541		30,229	29,920
	燃料削減(軽油)	目標・基準年比 達成率	100%	99%	73.0%	○	98%	97%
		使用量(L)	105,519	104,474	77,028		103,408	102,353
		(kg-CO ₂)	272,238	269,516	198,732		266,793	264,071
	二酸化炭素排出量	目標・基準年比 達成率	100%	99%	75.1%	○	98%	97%
		(kg-CO ₂)	307,093	304,022	230,714		300,951	297,880
	二酸化炭素排出量の削減 百万円当り原単位	目標・基準年比 達成率	-	-	68.2%	○	98%	97%
(CO ₂ /百万円)		615	615	419	603		597	
産業廃棄物のリサイクル 率向上	目標・取組年比 達成率	-	-	20.9%	○	-	-	
	(リサイクル率%) 建設現場	97.9%	80%	96.7%		80%	80%	
事務所利用水の削減	目標・基準年比 達成率	-	99%	94.4%	○	98%	97%	
	(使用量m ³)	36	35.64	34.0		35	35	
環境に配慮した施工 (全工事)	環境配慮施工の 推進(単位:%) 建設現場	目標・取組年比 達成率	-	-	100%	○	-	-
	(使用率%)	100%	100%	100%	100%		100%	
	汚染・汚濁の 適正管理(単位:%) 建設現場	目標・取組年比 達成率	-	-	100%	○	-	-
	(監視率%)	100%	100%	100%	100%		100%	
社会貢献活動	地域環境美化 等活動の実施。 (単位:回)	目標・取組年比 達成率	-	-	122%	○	-	-
	(参加回数)	9	9	11	9		9	

- 1 購入電力の排出係数は関西電力2019年度の調整後排出係数(0.318kg-CO₂/kWh)を使用している。
- 2 廃棄物排出量は、建設現場からの廃棄物に対して総量を把握し、再資源化率(リサイクル率)で管理する
- 3 水使用量については、事務所における水使用量の削減について取組む。また建設現場では、濁水防止監視に取組む
- 4 環境配慮施工は低燃費、低騒音、低振動、排ガス規制適合車を100%使用に取組む
- 5 社会貢献活動は、淡海エコフオスター制度に登録し、地域美化活動に取組む
- 6 化学物質については、使用がないので、目標に掲げない
- 7 上記の目標のほか、作業現場の環境及び品質安全向上のために3S活動(整理、整頓、清掃)に取り組む

5 環境経営計画

環境経営方針	取組項目	環境経営計画の内容	責任部門・担当者
二酸化炭素排出量削減	電気使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃） ・不要照明の消灯 ・機械設備・OA機器などのスイッチオフ 	総務部
	燃料削減（自動車・建設機械）	<ul style="list-style-type: none"> ・暖機運転・アイドリングストップ ・エコドライブの励行 ・建設重機の環境に配慮した稼働 ・タイヤ空気圧の確認、タイヤ空気圧の確認、 ・不要積載物の有無、不要積載物の有無 	工事部
産業廃棄物のリサイクル率向上	建設リサイクル率の向上（単位：％） 建設現場	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物を分別し、リユース・リサイクルを徹底する。 ・無駄な資機材を購入しない ・使用済みコピー用紙を再利用する。 	工事部
事務所利用水の削減	事業所利用水の節水（単位：m ³ ）	<ul style="list-style-type: none"> ・洗車の水使用量を減らす。 ・水を流しながらの洗い物はしない。 ・水洗トイレを節水モードで使用する。 	総務部
環境に配慮した施工（全工事）	環境配慮施工の推進（単位：％） 建設現場	<ul style="list-style-type: none"> ・低騒音・低振動型重機の使用 ・排ガス規制適合車の使用 ・環境配慮施工の維持 	工事部
	汚染・汚濁の適正管理（単位：％） 建設現場	<ul style="list-style-type: none"> ・濁水発生防止 ・油漏洩防止 	
社会貢献活動	地域環境美化等活動の実施。（単位：回）	地域の清掃活動に参加する。（エコフォスター）	総務部

その他の取組

- 1 淡海エコフォスターとは滋賀県が推進している地域の美化活動で、淡海エコフォスター制度に登録し、毎月1回地域の美化活動に取り組みしています。
- 2 滋賀県や市町が実施する「びわこの日一斉清掃」の美化活動、市内教育施設のグラウンド整備事業にも積極的に参加し、地域美化に努めています。
- 3 高島市まちづくり活動に参加し、樹木の剪定、草刈など地域の活性化活動に協力しています。
- 4 工事現場の清掃だけでなく現場周辺の清掃を行い、不法投棄品などを持ち帰り、適正に処分しています。

6 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

環境経営方針	取組項目	単位	2022年度(第44期)		取組の評価	担当責任者
			目標	実績		
二酸化炭素排出量削減	電気使用量削減	目標・基準年比達成率	99%	85.8%	上半期については目標達成到達したが、下半期の4, 5, 6月においては月次評価が目標達成未達となった、この原因としてこの期間は工事完了検査前の事務所内作業が増加し、消費電力が増加したためと推測する。今後は改善に努めたい。全体としては目標を達成できた。	総務部
		使用量(kWh)	12,482	10,820		
		(kg-CO ₂)	3,969	3,441		
	燃料削減(ガソリン)	目標・基準年比達成率	99%	92.5%		
		使用量(L)	13,164	12,302		
		(kg-CO ₂)	30,537	28,541		
燃料削減(軽油)	目標・基準年比達成率	99%	73.0%	上半期は目標未達月が複数月あったが、下半期は改善した。1月から3月の道路除雪作業委託事業の期間が目標達成しており、請負額に差がなく、活動にも差がない。他月の目標未達の原因は請負工事の施工場所、施工内容によるものと考えられる。挽回方法を検討するが年度によって請負工事種別が変動するので、一律な挽回策を設定するのは困難である。	工事部	
	使用量(L)	104,474	77,028			
	(kg-CO ₂)	269,516	198,732			
二酸化炭素排出量	目標・基準年比達成率	99%	75.1%			
(kg-CO ₂)	304,022	230,714				
二酸化炭素排出量の削減百万円当り原単位	目標・基準年比達成率		68.2%			
(CO ₂ /百万円)	615	419				
産業廃棄物のリサイクル率向上	建設リサイクル率の向上(単位:%) 建設現場	目標・取組年比達成率	-	20.9%	産業廃棄物のリサイクル率向上をほぼ達成できた	工事部
		(リサイクル率%)	80%	96.7%		
事務所利用水の削減	事務所利用水の節水(単位:m ³)	目標・基準年比達成率	99%	94.4%	事務所利用水の削減に努め目標達成となった。全体の使用量は今期34m ³ と少量であるが、今後は洗車などには川水の使用も検討する。	総務部
(使用量m ³)	35.6	34.0				
環境に配慮した施工(全工事)	環境配慮施工の推進(単位:%) 建設現場	目標・取組年比達成率	-	100%	環境に配慮した建設機械を100%使用した。濁水発生及び油漏洩する現場は無かった。この先購入する機械は出来る限り環境配慮型とする。	工事部
	汚染・汚濁の適正管理(単位:%) 建設現場	目標・取組年比達成率	-	100%		
社会貢献活動	地域環境美化等活動の実施(単位:回)	目標・取組年比達成率	-	122%	淡海エコフオスターを毎月1回行い、地元から感謝の言葉をいただいております、引き続き取り組んでいく。	総務部
		(参加回数)	9	11		

次年度の主な取組内容

- 1 環境経営システムの運用を従業員に周知し、全員で活動を進める。
- 2 ガソリンや重機車両の軽油使用量について省エネ運転や効率的な稼働の徹底を行う。
- 3 廃棄物は、建設現場からの廃棄物に対して総量を把握し、再資源化率(リサイクル)で管理する。
- 4 水使用量については、事務所の水使用量の削減、建設現場では濁水防止に取り組む。
- 5 環境配慮施工は低燃費、低騒音、低振動、排ガス規制適合車を100%使用に取り組む。
- 6 地域美化活動は、淡海エコフオスター制度に登録し、美化活動を推進する。
- 7 上記の目標のほか、作業現場の環境及び品質安全向上のために3S活動(整理、整頓、清掃)に取り組む。

7 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反、訴訟はありません。又、過去3年間に関係当局からの違反等の指摘はありません。

適用される法規制等と遵守状況

法規制等の名称	該当する要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出	遵守
建設リサイクル法	建設副産物の管理、排出	遵守
騒音規制法	対象特定建設作業の届出、規制値の遵守	遵守
振動規制法	対象特定建設作業の届出、規制値の遵守	遵守
水質汚濁防止法	事故時の措置	遵守
大気汚染防止法	特定粉じん作業、調査、届出	遵守
消防法	対象危険物保管の届出	遵守
フロン排出抑制法	第1種特定製品の点検と廃棄時の措置	遵守
地域ごみ出しルール	一般廃棄物の分別、収集、排出	遵守

注：適用される法規制等と遵守状況は、環境関連法規等の遵守状況のチェック結果に基づき記載します。

8 代表者による全体の評価と見直し・指示

見直し・指示日：2023年7月10日

1. 総使用電力が減少しているが、本社事務所で使用は横ばい、現場事務所における使用量が減ったためである。2. 水使用量の増加は事務所作業者が増加したのが一因と考える。つまり、現場事務所での作業が減り本社での作業が増加したが、電力は減った半面、水使用量が増えたと考えられる。総じてCO2抑制には一定の効果があったと見る。また、軽油の使用量が大幅に削減されているように見えるが、冬季（11月～3月）の数値が著しく減少したためであり、除雪作業の減少が原因と考える。今後も会社全体に周知を徹底し、積極的に活動をしていく。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制他	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり